

2019年度 第1回 全国宣教支援基金委員会 報告

日時：4月18日 15:00～18:10 場所：JECA 事務所
出席者：小倉師、岩松師、相山師、佐久間師、野村(書記)

1. 聖書 第一ヨハネ 4:20f 奨励：小倉師
2. 前回議事録確認 20190122 会議 2018-03 議事録 → 承認。

3. 報告

①2019年度の通常支援申請は今日付で支援金振込実行

事情により、振込口座確認に手間取り、本日付で振込指示書を提出。5 教会（緑ヶ丘福音キリスト教会、釧路のぞみキリスト教会、みよし福音キリスト教会、大泉聖書教会、揖斐キリスト教会）への支援実施。

②2018年度末の基金状況確認

別紙資料のとおり。献金収入 200 万円を超え、207 万円。収支プラス 23 万円。基金残高 427 万円。

③全国運営委員会での支援審査基準に関する確認

みよし福音キリスト教会の通常支援申請審議に関して、全国運営委員会では一般会計に 600 万円の繰越金があることが問題視され、議論になった。多額のプール金を保有する場合、支援して良いか。 → 議事 3

4. 議事

議事 1 プロジェクト支援の申請が少ないことへの対応

これまでの利用例：備え付け聖書／讃美歌、看板設置、伝道集会講師費、ピアノ購入、ハンドベル購入。一度プロジェクト支援を受けた教会が継続（連続）利用できないと思っているのか。遠慮もあるだろう。教会によってはプロジェクト支援があることも知らないのではないか。地区や周辺教会による積極的助言や利用促進も必要だ。プロジェクト支援を受けた教会にアンケートを取る。よかった点、継続利用しなかった理由など。 → アンケート作成担当：小倉師

議事 2 機構検討特別委員会からの財務基金委員会構想の件

別紙『財務管理に関する各委員会を統合し、新たに「財務基金委員会」を設置する提案』&「規則案」

当委員会からの要望 1 任期の設定

問題は規則案 第 5 条「任期 2 年の重任二期」という制限。継続性が担保できない。むしろ 2 年任期重任三期まで可にしたほうがいい。

当委員会からの要望 2 宣教支援の意識を共有できるように

基金委員会の統合は問題ない。ただ、宣教協力委員会との統合／意識改革を積極的に進めたい。当委員会は解散することになるので、宣教協力委員会に当委員会からのメンバーを加えてほしい。

議事 3 支援審査基準に関して 多額の繰越金を保有するケースの支援可否

みよし福音キリスト教会の通常支援申請審議に関しては、これまでの経緯を考慮しての承認だが、流用することがないように繰越金を特別会計に区別して、用途を明確にしてほしい。みよし福音教会に伝える。 → 小倉委員長が連絡。

これまで、多額の繰越金やプール金がある場合には、それを先に用い、支援しないという原則があったが、困窮に至る前段階での支援可能性や、返済方式での貸し出しも今後は考慮が必要だと話し合った。

→ 今後の検討課題。審査基準の更新（20170425 審査基準案）

もう一点、全国運営委員会での議論から、確認があった。支援提出書類のうち、次年度予算書については、支援を受けた場合の予算書を提出するのか、それとも、受けなかった場合のものか。

→ 支援を受けた場合の予算書提出が必要と確認した。（全国宣教支援基金申請マニュアル 201810）

議事 4 その他、各地の状況報告、情報共有

→ 宣教支援に関して、各自が知っている情報を共有した。

次回以降委員会	2019年7月1日(月)	15:00-	会場：事務所予定	奨励：野村
	10月8日(火)	10:00-	会場：事務所予定	奨励：岩松師
※日程変更	2020年2月5日(水)	15:00-	会場：松見ヶ丘	奨励：佐久間師

祈り：佐久間師